

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第15週の発生動向

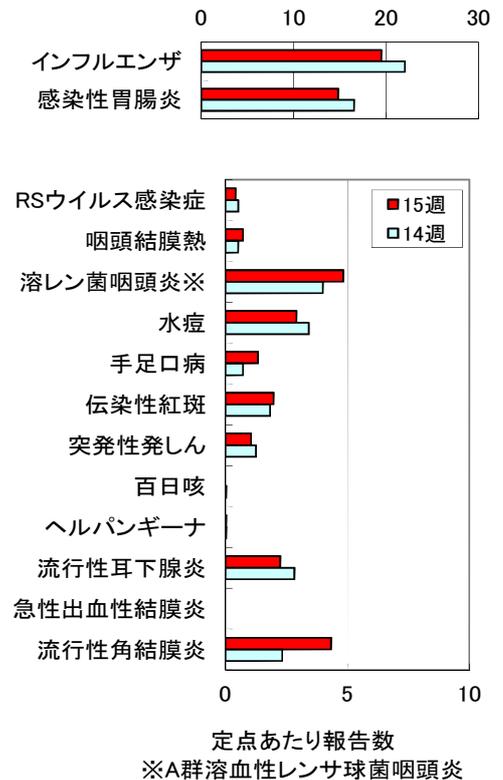
定点医療機関からの報告総数は2,271人（定点あたり54.2）で、前週比96%とほぼ横ばいであった。

前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は流行性耳下腺炎とインフルエンザであった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は174人（4.8）で前週比121%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（2.3）の約2.1倍と多い。延岡（12.8）、中央（11.0）保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では4歳から7歳で全体の約半数を占めた。

インフルエンザの報告数は1,152人（19.5）で前週比89%と減少した。中央（28.5）、高鍋（28.3）、日向（27.7）保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の38%、6-9歳が38%、10-14歳が14%、15-19歳が2%、20歳以上が8%を占めた。

《前週との比較》



- 感染性胃腸炎の集団発生（平成23年4月11日～平成23年4月17日まで）
感染性胃腸炎の集団発生はありませんでした。

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年齢分布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4.8	延岡(12.8)、中央(11.0)	4歳～7歳で全体の約半数を占めた。
感染性胃腸炎	20	14.8	小林(34.7)、中央(21.0)、都城(20.2)	1歳～4歳で全体の約半数を占めた。
伝染性紅斑	2	2.0	延岡(3.3)、宮崎市(2.9)、高鍋(2.3)、日南・高千穂(各2.0)	3歳～8歳で全体の約8割を占めた。
流行性耳下腺炎	6	2.3	日南(6.0)	2歳～6歳で全体の約7割を占めた。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 3 例が都城 (2 例)、宮崎市 (1 例) 保健所から報告された。
 《宮崎市保健所》・40 歳代の男性で肺結核。血痰がみられた。
 《都城保健所》・40 歳代の男性で疑似症患者。
 ・30 歳代の男性で肺結核。咳、痰、発熱がみられた。
- 3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 1 例が都城保健所から報告された。2 歳の男児で水様性下痢、嘔吐がみられた。原因菌は 0111 (VT 産生)。
- 4 類感染症 : 報告なし。
- 5 類感染症 : 報告なし。

■ 病原体情報 (衛生環境研究所 微生物部)

□ ウイルス (平成 23 年 4 月 5 日～平成 23 年 4 月 18 日までに検出)

同定ウイルス名	年齢	性	採取日	臨床症状	材料	検出日
ノロウイルスGⅡ型	11M	女	2.15	難治性下痢症、胃腸炎(下痢)	便	4.14
RSウイルス	4	男	2.21	インフルエンザ、39.5℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	4.8
ライノウイルス	30	男	2.18	インフルエンザ、38.5℃、関節痛、咽頭痛、頭痛	咽頭ぬぐい液	4.8
ライノウイルス	4	女	4.4	無菌性髄膜炎、39℃、熱性けいれん、意識障害、上気道炎	咽頭ぬぐい液	4.8
ヒトメタニューモウイルス	1	男	4.1	重症肺炎、39℃、下気道炎	咽頭ぬぐい液	4.6
アデノウイルス2型	1	女	3.11	中毒疹、40℃、上気道炎、発疹	咽頭ぬぐい液	4.18
単純ヘルペスウイルス1型	1	男	3.24	ヘルペス歯肉炎、口内炎	咽頭ぬぐい液	4.18
インフルエンザAH3型	5	男	3.30	インフルエンザ、39.6℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	4.5
インフルエンザAH3型	16	男	3.31	インフルエンザ、40.4℃、鼻汁、咳嗽	鼻腔ぬぐい液	4.5
インフルエンザAH3型	6M	男	4.12	インフルエンザ、39.9℃、胃腸炎、嘔気、嘔吐	鼻汁	4.14
インフルエンザB型	12	男	4.4	インフルエンザ、38℃	咽頭ぬぐい液	4.5
インフルエンザB型	7	男	4.12	インフルエンザ、38.4℃、鼻水	鼻腔ぬぐい液	4.14

○難治性下痢症の乳児からノロウイルスGⅡ型が検出された。

○インフルエンザと診断された患者2名から、RSウイルスとライノウイルスが検出された。RSウイルス感染症は乳幼児の代表的な呼吸器感染症で、冬季に流行し2歳までにほぼ100%が感染する。鼻汁、咳などの上気道炎と発熱で始まり、咳、喘鳴、呼吸困難へと進行する。

○中毒疹、上気道炎の幼児からアデノウイルス2型が分離された。アデノウイルス感染症は様々な症状を示すが、2型は主に咽頭炎、扁桃炎をおこす。

□ 細菌（平成 23 年 4 月 5 日～平成 23 年 4 月 18 日までに検出）

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	検出日
<i>Campylobacter jejuni, coli</i>	5～9	男	2011.3.31	発熱(40.0℃)、下痢、腹痛	便	2011.4.5
腸管出血性大腸菌(OUT:H16, VT1)	5～9	女	2011.4.4	血便、腹痛	便	2011.4.11
腸管出血性大腸菌(OUT:H16, VT1)	5～9	女	2011.4.8	同上(同一人物の治療後)	便	2011.4.15

○胃腸炎症状を呈した子どもから*Campylobacter jejuni*と*Campylobacter coli*が分離された。同一人物から2種類のカンピロバクターが検出されることは珍しい。カンピロバクターによる胃腸炎患者の原因菌種の90%以上は*C. jejuni*であるが、食品検査では*C. coli*が検出されることがある。

■ 全国第 14 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 21.0 で、前週比 86%と減少した。今週増加した主な疾患は感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

感染性胃腸炎の報告数は 24,806 人 (8.0) で、前週比 109%と増加した。鹿児島県 (17.6)、宮崎県 (16.6)、福井県 (15.5) からの報告が多く、年齢別では1歳から3歳で全体の約半数を占めた。

インフルエンザの報告数は 30,662 人 (6.4) で、前週比 63%と減少した。宮崎県 (22.1)、石川県 (19.0)、福岡県・大分県 (13.3) からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の43%、6-9歳が24%、10-14歳が10%、15-19歳が3%、20-50歳代が17%、60歳以上が3%を占めた。

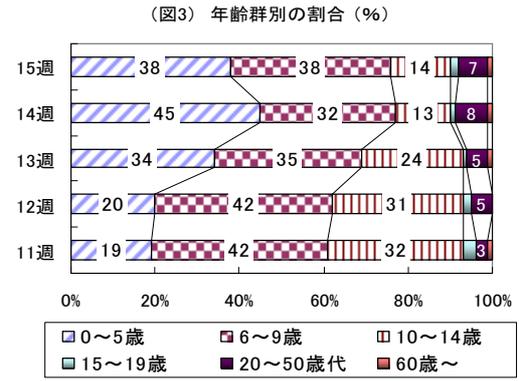
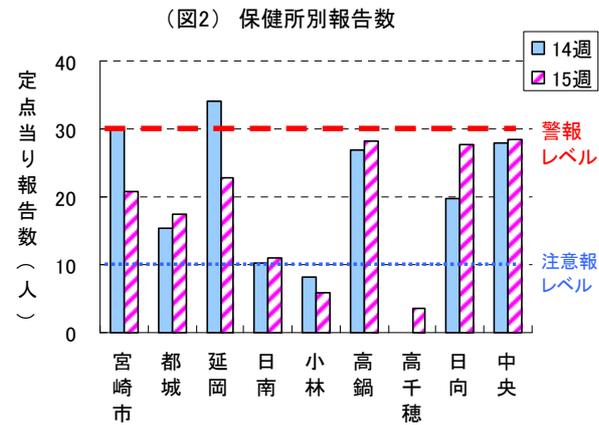
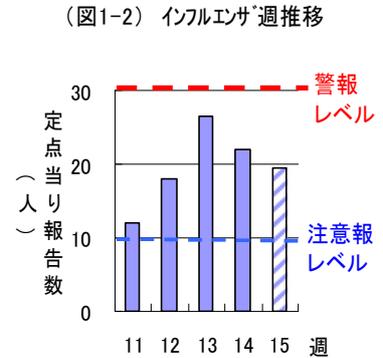
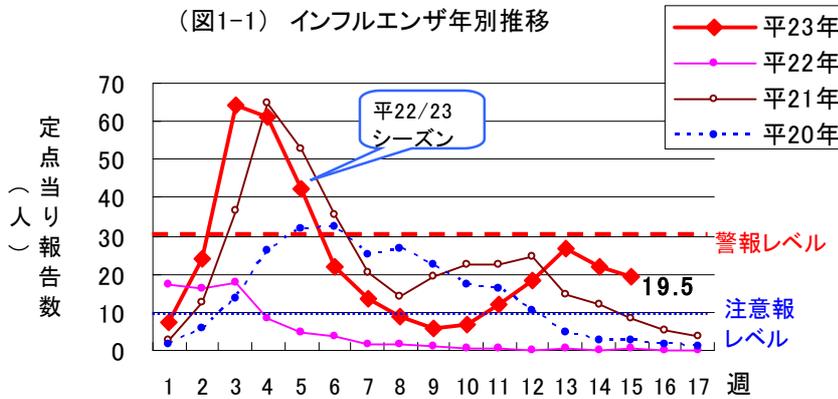
□ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 320 例
- 3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 13 例、パラチフス 1 例
- 4 類感染症 : E型肝炎 2 例、A型肝炎 1 例、デング熱 2 例、マラリア 2 例、レジオネラ症 4 例、レプトスピラ症 1 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 13 例、ウイルス性肝炎 3 例、急性脳炎 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 例、後天性免疫不全症候群 9 例、梅毒 9 例、破傷風 1 例、風疹 6 例、麻しん 5 例

■ インフルエンザ情報《県内第 15 週、全国第 14 週（再掲）》

□ 県内第 15 週インフルエンザ発生動向

平成 23 年 4 月 11 日～4 月 17 日までの 1 週間で 1,152 人（定点あたり 19.5）の報告があり、前週に比べ 89%と減少した（図 1-1,2）。中央（28.5）、高鍋（28.3）、日向（27.7）保健所からの報告が多い（図 2）。年齢別では 5 歳以下が全体の 38%、6-9 歳が 38%、10-14 歳が 14%、15-19 歳が 2%、20 歳以上が 8%を占めた（図 3）。



インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○: 警報レベル、△: 注意報レベル、- 警報・注意報レベルなし

保健所	今週 (第15週)		1週前 (第14週)		2週前 (第13週)		3週前 (第12週)		4週前 (第11週)		5週前 (第10週)	
	4/11～4/17		4/4～4/10		3/28～4/3		3/21～3/27		3/14～3/20		3/7～3/13	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎市	20.8	△	30.1	○	46.4	○	36.3	○	26.3	△	12.6	△
都城	17.5	△	15.4	△	7.8	-	1.7	-	1.3	-	2.0	-
延岡	22.9	△	34.0	○	28.3	△	12.9	△	4.9	-	4.4	-
日南	11.0	△	10.2	△	19.4	△	21.4	△	14.6	△	5.4	-
小林	6.0	-	8.2	-	14.2	△	4.0	-	0.4	-	1.4	-
高鍋	28.3	△	27.0	△	26.8	△	27.5	△	14.3	△	11.3	△
高千穂	3.5	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-	1.0	-
日向	27.7	△	19.7	△	18.3	△	7.5	-	2.8	-	1.0	-
中央	28.5	△	28.0	△	50.5	○	22.5	△	30.0	○	23.5	△

□ 全国第 14 週インフルエンザ発生動向

平成 23 年 4 月 4 日～4 月 10 日までの 1 週間で 30,662 人（6.4）の報告があり、前週比 63%と減少した。宮崎県（22.1）、石川県（19.0）、福岡県・大分県（13.3）からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 43%、6-9 歳が 24%、10-14 歳が 10%、15-19 歳が 3%、20-50 歳代が 17%、60 歳以上が 3%を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向 <3月>

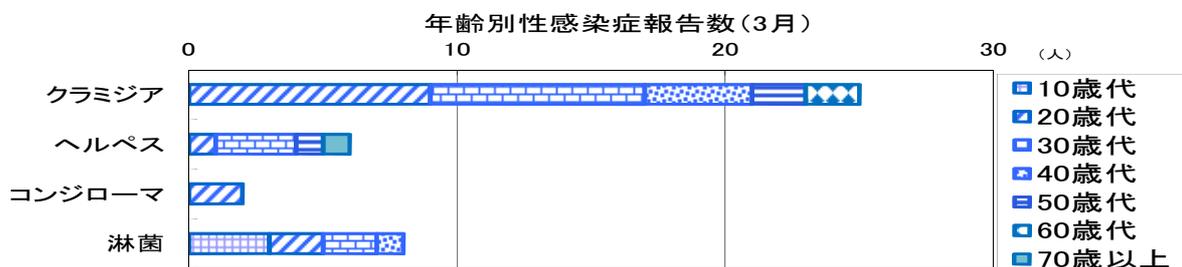
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は41人（3.2）で、前月比103%とほぼ横ばいであった。また、昨年3月（3.6）と比べると87%と少なかった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数25人（1.9）で、前月・前年とほぼ同数であった。都城（5.5）、日向（3.0）、日南（2.0）保健所からの報告が多く、男性16人・女性9人で、20歳代が全体の約4割、30歳代が約3割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数6人（0.46）で、前月の約1.5倍、前年と同数であった。男性2人・女性4人で、30歳代が全体の半数であった。
- 尖圭コンジローマ：報告数2人（0.15）で、前月と同数、前年の約3割であった。20歳代の男性と女性であった。
- 淋菌感染症：報告数8人（0.62）で、前月・前年と同数であった。男性6人・女性2人で、10歳代が3人、20歳代・30歳代が各2人、40歳代が1人であった。



【全国】 定点医療機関総数：964

定点医療機関からの報告総数は3,836人（4.0）で、前月比104%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,010人（2.1）で前月比104%、性器ヘルペスウイルス感染症666人（0.69）で前月比103%、尖圭コンジローマ414人（0.43）で前月比105%、淋菌感染症746人（0.77）で前月比106%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は39人（5.6）で前月比186%と増加した。また昨年3月（5.3）の105%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数29人（4.1）で、前月の約1.8倍、前年の約1.1倍であった。高鍋（7.0）、宮崎市（6.0）、日南・日向（5.0）保健所からの報告が多く、70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数7人（1.0）で、前月の約1.4倍、前年の約7割であった。全て宮崎市（7.0）保健所からの報告で、10歳未満が全体の約7割を占めた。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数3人（0.43）で、全て70歳以上の報告であった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：469

定点医療機関からの報告総数は2,194人（4.7）で、前月比99%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,834人（3.9）で前月比101%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症334人（0.71）で前月比88%、薬剤耐性緑膿菌感染症26人（0.06）で前月比100%、薬剤耐性アシネトバクター感染症の報告はなかった。

※薬剤耐性アシネトバクター感染症は2月より定点把握対象疾患となりました。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2011年 第15週(04月11日～04月17日)

疾病名		第14週	第15週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1301	1152	332	175	160	55	30	170	7	166	57
	定点あたり	22.05	19.53	20.75	17.50	22.86	11.00	6.00	28.33	3.50	27.67	28.50
RSウイルス 感染症	報告数	19	15	2	3		1			1	8	
	定点あたり	0.53	0.42	0.20	0.50	0.00	0.33	0.00	0.00	1.00	2.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	19	26	6	7	3	3	7				
	定点あたり	0.53	0.72	0.60	1.17	0.75	1.00	2.33	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	144	174	38	25	51	18	3	5	4	19	11
	定点あたり	4.00	4.83	3.80	4.17	12.75	6.00	1.00	1.25	4.00	4.75	11.00
感染性胃腸炎	報告数	596	534	102	121	22	58	104	32	10	64	21
	定点あたり	16.56	14.83	10.20	20.17	5.50	19.33	34.67	8.00	10.00	16.00	21.00
水痘	報告数	123	105	32	6	20	5	2	18	1	19	2
	定点あたり	3.42	2.92	3.20	1.00	5.00	1.67	0.67	4.50	1.00	4.75	2.00
手足口病	報告数	26	48	14	8	13	1		8		4	
	定点あたり	0.72	1.33	1.40	1.33	3.25	0.33	0.00	2.00	0.00	1.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	66	71	29	6	13	6	5	9	2		1
	定点あたり	1.83	1.97	2.90	1.00	3.25	2.00	1.67	2.25	2.00	0.00	1.00
突発性発しん	報告数	45	38	9	8	5	4	3	5		4	
	定点あたり	1.25	1.06	0.90	1.33	1.25	1.33	1.00	1.25	0.00	1.00	0.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	1								1	
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	102	81	50	1	9	18	1	1			1
	定点あたり	2.83	2.25	5.00	0.17	2.25	6.00	0.33	0.25	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	14	26	19	6	1						
	定点あたり	2.33	4.33	6.33	3.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	3										
	定点あたり	0.43	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:6

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～15週)

2類感染症	結核	80例(3)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	12例(1)			
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	2例	
	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎 3例
5類感染症	後天性免疫不全症候群	5例	梅毒	3例	破傷風 2例
	風しん	1例			

●動物感染症累積報告数(2011年1週～15週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	20例
-------	-------------------	-----

()内は今週届出分、再掲

* 基幹定点:宮崎市-1